

議事結果 摘録

会 議 名	令和 8 年度第 1 回古河市こども未来応援会議
日 時	令和 8 年 5 月 2 8 日（木）午後 2 時 0 0 分から午後 4 時 0 0 分まで
場 所	古河市役所古河庁舎（3 階） 全員協議会室
出 席 委 員	会長 楠田 和仁 副会長 加藤 美恵子 委員 吉羽 佑司 委員 中村 美智子 委員 野口 宏美 委員 稲見 裕子 委員 友野 とも子 委員 大高 滋 委員 高橋 真 委員 新井 由香 委員 浅井 里江子 委員 工藤 義人 委員 小林 淳子 委員 千野 広武
欠 席 委 員	委員 金沢 彩香 委員 大里 友美
事 務 局	福祉部 部長 池澤 こども政策課 課長 樋口 課長補佐 鹿久保 係長 浜野 主幹 松永 主事 小川 保育課 課長 谷口 課長補佐 福田 係長 橋本 係長 染谷 主幹 林 子育て包括支援課 課長 横山 課長補佐 井上 課長補佐 長瀬
議 事	（1）こども誰でも通園制度について （2）古河市こども計画 KODOMO GRAND DESIGN 2025-2029 について （3）古河市こどもの居場所支援事業について （4）古河市こどもの意見表明について
質疑の内容 （主な意見 事務局回答）	（1）こども誰でも通園制度について ・他の自治体では独自で時間を延ばしている自治体もあるが古河市はいかがか。 →事務的な負担も多い。まずは、国の制度に基づいて実施していく。 ・制度を導入することで施設にどのくらい支払われるのか。 →1 時間当たり、利用者から利用料 300 円、市から（0 歳の場合）給付 1,700 円の計 2,000 円が施設に支払われる。 ・4 月の利用実績は、他市での利用も含んでいるか。 →市内の児童 1 名の野木町内の施設利用を含んでいる。 ・4 月の利用者は 1 回で何時間くらい利用したのか。慣らし保育としての利用か。 →1 回あたり 2 時間の利用。理由は様々だが、母親と離れる時間で、こどもの社会性を育む意味でも重要と考えている。 （2）古河市こども計画 KODOMO GRAND DESIGN 2025-2029 について ・ブックスタートとは、絵本をプレゼントするのか。小さい子は絵本はわかるのか。 →五ヶ月児健診の際に絵本をプレゼントしている。お母さんが絵本を読み聞かせることで追ったりして小さい子でも喜んでいる。幼児期より親しんでもらうという目的で行っている。

・居場所を立ち上げたい人への支援 100%は補助金交付なのか、相談のみも含むのか。
→含む。補助金交付した人もいるが、中にはまだすぐに立ち上げたいとまでは考えていない人からの相談もあったため、そちらも件数に計上している。

・子育て広場の利用数は延べ人数で、同じ子どもも含まれている数なのか。
→含まれている数になる。

・子育て広場、学習室ともに増加傾向にあるようだが、利用者数を増やすことを目的としているのであれば、建物の補修やメンテナンスをしっかりと行い、壊れる前に修繕できるよう予算も確保してほしい。

・幼児教育施設の巡回相談の要請に対する実施率というのはどのようなものか。
→小学校入学に向けての保護者の不安を解消することを目的としており、幼児教育施設から要望があった際に指導課と児童発達支援センターとで巡回し相談を受けている。

・通学路危険箇所対策率 100%とはどういうことか。危険箇所は市内に見受けられる。今後はどうするのか。

→臨時的な対応も含めている。今後も継続して対応していく。

(3) 古河市こどもの居場所支援事業について

・体験活動ができる場というところ、こども夢交付金を利用している団体もあると思うが併用はできるのか。

→こどもの居場所支援事業としては自走を目指していただくことも目標の1つであるので、他の補助金等も積極的に利用していただきたいと思っており、計上が重複しない限りは併用可能である。ただし、一部の補助金は、他の補助金との併用が制限されている場合がある。

・居場所は資金集めが大変だとも聞く。より手厚い支援をお願いしたい。

(4) 古河市こどもの意見表明について

・載せていない意見はどのようなものがあるか。

→意見を聞く際に「HP等で公表をして良いか」という項目があり、同意いただいた意見をHP等で公表している。内容的には公表している意見とあまり変わらず、「○○（お店や遊び場）が欲しい」といったものが多い。

・中には深刻な悩みなどを書いてくる子どももいると思うが、その場合は他課と連携するのか。

→意見をいただくフォームの前に、いじめや虐待など専用の相談窓口があるものについてはまず案内を行っている。そのうえで意見フォームからいじめや虐待などの相談が来た場合は、他課と連携、情報を共有し支援していく予定である。

・インターネットから意見を言えるといっても、子どもがアクセスするとは考えにくい。学校とも連携した方が良い。

→教育委員会の協力のもと、小中学生の1人1台端末にはこども計画へのページのリンクがあり、そこから意見表明フォームへアクセス出来るようになっている。